

腕に技術、 心に「あかり」!

建築家志望の若者たちとホームレスのコーポレーションが新たな価値を生む「こもれび荘」改装工事プロジェクト進行中!

自分の専門知識と技術を生かして社会にアプローチしている若者たちを紹介します。

神山(こうやま)郁子さん(日本大学大学院建築学専攻)、鈴木信太郎さん(同左)、日吉良平さん(早稲田大学大学院建築学専攻)。大学の研究室で建築デザインを学ぶ3人は、ホームレスの自立支援NPOの新事務所改装工事に共同参画するために、2004年2月「AKARI」というグループを立ち上げました。建築家を目指す学生が無報酬でデザイン

し、ホームレスの人との共同作業により完成した事務所兼憩いの場「こもれび荘」。作業を通して彼らが学んだものは? 得たものは? 生まれたものは? ……夏までに事務所の改装を終えて、この冬、外装工事に着手する3人にお話を聞きました。

AKARI

きっかけ～ 神山さんのお話

「ある日、友人に誘われて、ホームレスに食事を提供する“炊き出し”に参加し、大きなショックを受けました。それまで私は、人を区別して考えるようなことはしたくないと思っていたのに、そこに来ているホームレスの人に「そんな格好して、俺たちを区別するのか?」と言われたのです。その後、卒論を書くために都内の自立支援センターなどを調査し、施設のデザインの課題などをまとめましたが、もっと直接にホームレスの人を支援したいと思い、炊き出しで知り合ったNPOが事務所を移転・改装するプロジェクトに参画するために「AKARI」というグループを立ち上げました。」

「AKARI」のコンセプト～3人の想い

「このプロジェクトには、私たちデザイナー、ホームレスを支援する人たち、そしてホームレスの人たちと、いろんな人がかかわっていますが、みんな同じ想い・同じ立場で一つのものを作っていきたいという強い気持ちがあります。ただモノをつくるだけでなく、一つのモノづくりを通して、古くなった建物に再び価値をつくり出したり、その作業の過程にも価値を与えたいのです。」

グループの名前「AKARI」とは、これから私たちがいろいろな仕事をするようになって、心のまんなかにも光のように、種火のように、この想いを信じて持ち続けたいという気持ちをこめてつけました。」



完成した「こもれび荘」で次の構想を相談する「AKARI」の3人(右から神山さん、日吉さん、鈴木さん)

共同作業～プロセスと学びの成果

「現場は築30年の木造アパートの一室で、天井、床、壁、棚…と作っていきました。作業には元ホームレスだった人が棟梁として加わってくれたほか、ホームレスの人や、NPOのボランティアさんも参加しました。みんなで時間をかけて話し合いを重ねたからこそ、全員が満足するものができたと思います。私たちにとっても実社会の経験になり、特に棟梁からは、たくさんのことを教わりました。炊き出しを手伝ったときは“やってあげた”という感じでしたが、この共同作業はみんなが同

じ視線に立てたのだと思います。」

6月中旬、コンパクトでフレキシブル、木のぬくもりが伝わる暖かな空間「こもれび荘」がオープンしました。

ボランティアの枠を超えて

「私たちの活動が、従来のボランティアという枠にあてはまるのかどうかはわかりません。最初はただ改装工事をするという意識しかありませんでした。むしろ、体調が悪いのに進んで引き受けてくれた棟梁こそ本当のボランティアだと思うし、ホームレスだった経験がある棟梁にとって、今回の仕事を通して自信や社会とのつながりを取り戻してくれたら、それはよいことだと思います。最初はここまで満足感があるとは思っていませんでした。でも今は、この活動を通して社会に新しい価値を示したいと思うし、そういう価値が認められるようになってほしいと思います。お金のことは問題ではないのです。このプロジェクトを通してみんなと分かち合えた大切なものを信じているし、これからも信じ続けたいのです。」

いつまでも人が集いなくなる空間であってほしい…「AKARI」がそう願ってデザインした「こもれび荘」は、ホームレスの人の相談室・支援者ネットワークの場・美味しい飲み物とお菓子のカフェ…日ごとにその顔をかえて人々を迎えています。

次はどんなリニューアルですか?

「今年度は外装工事です。そして次は、高齢の人も和(なごめる)ように和室を作る構想です」

これからもみなさんの技術と感性を生かして、世の中に新しい風を吹かせてくださいね!



改装中の様子。天井が終わり壁にとりかかる

どうやってはじめるの?

ボランティア活動をはじめるためにはどうすればいいのだろうか? と迷う人も多いかも。そんな時は、まずお近くのボランティアセンターや(コチラ)の活動情報提供窓口で連絡してみてください。職員が相談にのりながら活動に関する情報を紹介してくれます。

東京ボランティア・市民活動センター

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1
<http://www.tvac.or.jp/> 電話03-3235-1171 ファクシミリ03-3235-0050
各地域におけるボランティア活動に関する相談・情報提供などは、区市町村のボランティアセンターで行っています。

日本青年奉仕協会(JYVA)

〒151-0052 渋谷区代々木神園町3-1 国立オリンピック記念青少年総合センター内
<http://www.jyva.or.jp/index2.html> 電話03-3460-0211 ファクシミリ03-3460-0386